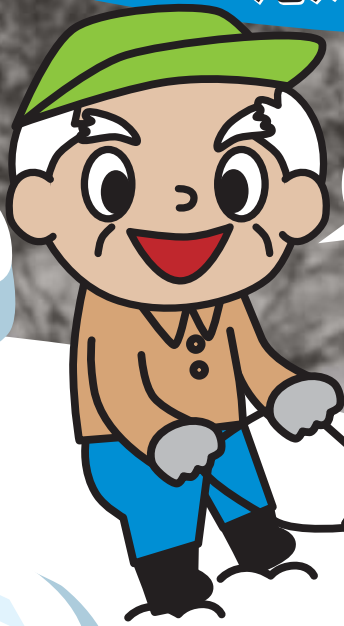


屋根の雪下ろし 3つの用心

～元気なお年寄りほど気をつけて～



最初の雪下ろし、
特にご注意ください！

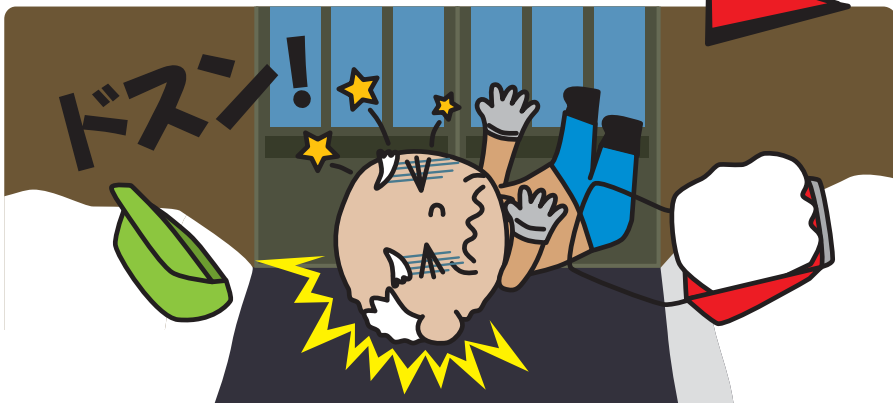
用心その1 スノードンプの取り扱いにご用心！

ポイント スノードンプは、バランスを崩さないように、小回りの利く、小さいものを使いましょう。



用心その2 除雪済みの硬い地面にご用心！

ポイント 転落による重大事故は、除雪済みの固いところに、頭を打ちつける場合が多いので、地面の雪のたまり具合を確かめましょう。



用心その3 高齢者の経験と体力の過信にご用心！

ポイント 若い時の記憶や体力の感覚は、現在とは違うので注意しましょう。



屋根の雪下ろしに関するその他の注意事項

1. 作業を開始する前に

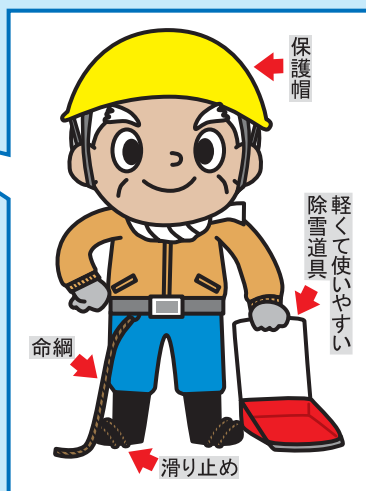
- 作業を開始する前に、段取り（方法、順序、雪捨て場）を確認しましょう。
- 強風や大雪などの悪天候時には作業を控えましょう。
- 暖かい日の作業は、屋根が滑りやすく危険です。できれば曇り空で、雪が固い午前中が適しています。

2. 体調の管理

- 作業中はもちろんのこと、作業後の健康管理にも十分注意しましょう。
- お酒を飲んでの作業は絶対にしないようにしましょう。
- 作業を行う際には、暖かい服装で、休憩時間を確保しながら行いましょう。また、疲労時や寝不足時には無理な作業を控え、心臓等への負担を避けるようにしましょう。

3. 安全な服装・命綱の使用・使いやすい除雪道具

- 屋根の雪下ろしをするときには、命綱の使用や保護帽（ヘルメットなど）の着用、長靴にすべり止め（荒縄の着用）やかんじきの装着など、安全管理を徹底しましょう。また、軽くて使いやすい除雪道具を使用しましょう。



4. はしごの固定、足場の確保

- はしごの転倒を防ぐため、はしごの足元はしっかり固定するとともに、頭部も安定させるようにしましょう。
- 足場をしっかりと確保して、雪は20cmほど少し残して下ろすようにしましょう。（下ろしすぎると滑りやすくなります。）

5. 1人で作業をしない

- 雪下ろしを行うときは、明るい時間帯に2人以上で行い、作業中は声を掛け合うなど、お互いに見守るようにしましょう。
- やむを得ず1人で作業をする場合は、家族やご近所に声をかけ、時々様子を見てもらいましょう。

6. むりをしない

- 雪止めのない屋根や自然落下式（落雪式）などの屋根には上がらないようにしましょう。
- 無理な体勢での作業は危険です。また、雪止めより先では作業をしないなど軒先にあまり近づかないようにし、屋根の先端に近い部分の作業は特に注意しましょう。

7. 落雪にも注意

- 雪下ろしをするときには、屋根の下の通行人（特にお年寄りや子供）に十分注意しながら行いましょう。
- 地上での作業では、屋根からの落雪に十分注意しましょう。



屋根の雪下ろし時の転落が重大事故につながっている場合が多くなっています。十分気をつけて作業を行ってください。



- スノーダンプの雪の重みに体をとられて、もしくは雪を振ったときにバランスを崩して落ちる場合が多いです。
- 転落事故による重大事故は、転落時に頭を硬い地面に強打している場合がほとんどです。
- 雪国のお年寄りは、自信があるから1人で屋根に上がることが多いです。経験や体力に過信があるようです。油断は禁物です。
- 悪天候時や体調の悪いときに無理をして作業をしている場合があります。無理のない安全な計画を進めましょう。